

📖 時めく絵巻物めぐり
えいごよみもの  2



Have you ever felt the world?

世界が広いって感じたことが
ありますか？

文：川口 拓

Have you ever felt the world?

*The purpose of learning English is not only studying the language but also making friends by using it.
You will have many more friends.*

*They probably have different and very interesting way of thinking. Through them, you will meet whole new ideas,
knowledges and skills you would never imagine before. You can show them the wonderfulness of Japan also.
You can actually feel the world in there.*

*I studied English hard, feeling that something wonderful was waiting ahead of it. And I was right.
I saved up money to go to the survival school in America
and there I met very precious skills and teachings that I would have never be able to learn in Japan.*

One of the best things I learned there is awareness. To make it short, awareness is to feel deeply by all senses.

*Feeling the wind blow, the bump of the earth, warmth and coldness, and hearing the voices of birds all around,
your awareness can be automatically awaken when you get out to the great nature.*

So let's do some wilderness survival to get back your primal awareness.

世界が広いって感じたことがありますか？

英語を学ぶ目的は言葉を覚えることだけではありません。英語を使って、海外の人と友達になることです。

友達の数が増えるだけでなく、日本人の仲間とは少し違った考え方を持っている新しい友達から、今まで考えもしなかったアイデアや、知識、技術を教えてもらうことだって出来ます。日本の素晴らしさを世界のお友達に伝える事もできます。世界の広さを感じられるのです。

私も、英語が話せれば、とても素晴らしい世界が待っている気がして、一生懸命勉強しました。そしてその予感は当たりました。アルバイトをしてアメリカのサバイバルスクールに行き、日本には決して習うことが出来なかった凄い技術や教えに出会えました。

学んだ教えの中に、アウェアネスというものがあります。アウェアネスというのは「豊かに感じる力」です。

風や、変化に富んだ大地の隆起を感じたり、寒さや暖かさに触れたり、色んな方向で鳥が鳴いているのに気付いたり。

フィールドへ出かけると、アウェアネスが自然にパワーアップします。

便利な生活で弱っているかもしれないアウェアネスという野生の力をサバイバル遊びで取り戻してみましよう！

川口 拓（WILD AND NATIVE 代表 / 一般社団法人危機管理リーダー教育協会 代表理事 / サバイバルインストラクター / 自衛隊危機管理&サバイバル教官）

1971年、世界で定められている地球の日（4月22日）に生まれる。幼少の頃より自然が好きで、溪流で魚を獲り、その場で焚火で焼いて食べたり等、自然に親しみながら子供時代を過ごす。1996年～2004年、カナダやアメリカを何度も訪れ、雪山登山、ロッククライミング、カヌー、カヤック、野外救急法、野外教育法、ネイティブアメリカンの古来の教え、大地と共に生きるサバイバル技術等を学ぶ。

2001年より WILD AND NATIVE を主催、2013年、一般社団法人危機管理リーダー教育協会を設立。現在も自分で学びながら、ネイティブアメリカンの大地と共に生きる術、哲学、アウェアネス（原始の感覚の使い方）、サバイバル技術等を、一般の方々から、現役自衛官、警察官の方々に至るまで、幅広く共有している。

著書に「BUSHCRAFT - 大人の野遊びマニュアル」誠文堂新光社、「キャンプでやってみる子どもサバイバル」ベースボールマガジン社 などがある。